

五月二十八日

たのしみは②

☆作品を作ろう

試作①

試作②

試作③



☆「春のいぶき」の学習と同様の流れ。
・題材を選び、短歌を作る（試作①）。言葉の使い方や表現、「たのしみ」が伝わるかどうかの視点で見直しをして、作り直す（試作②）。以降、同様に試作と見直しを繰り返す。満足できる出来になったら【作品】枠に書き込む。改良したところが分かるように、赤鉛筆で線を引く。
・国 WS⑧を参考にする。

作品

作品の解説

五月二十八日 ここまで

ヒントコーナー（ノートには書かない）

短歌・・【五・七・五・七・七】の三十一文字（または三十一音）、季語は要らない。

テクニク例・・反復法（くりかえし） 倒置法（語順を逆にする） 押韻（似た音で切る） 体言止め 比喩

擬音語 擬態語を使う……

ちょっとグサイ・・○○はね、などで無理やり音をそろえること